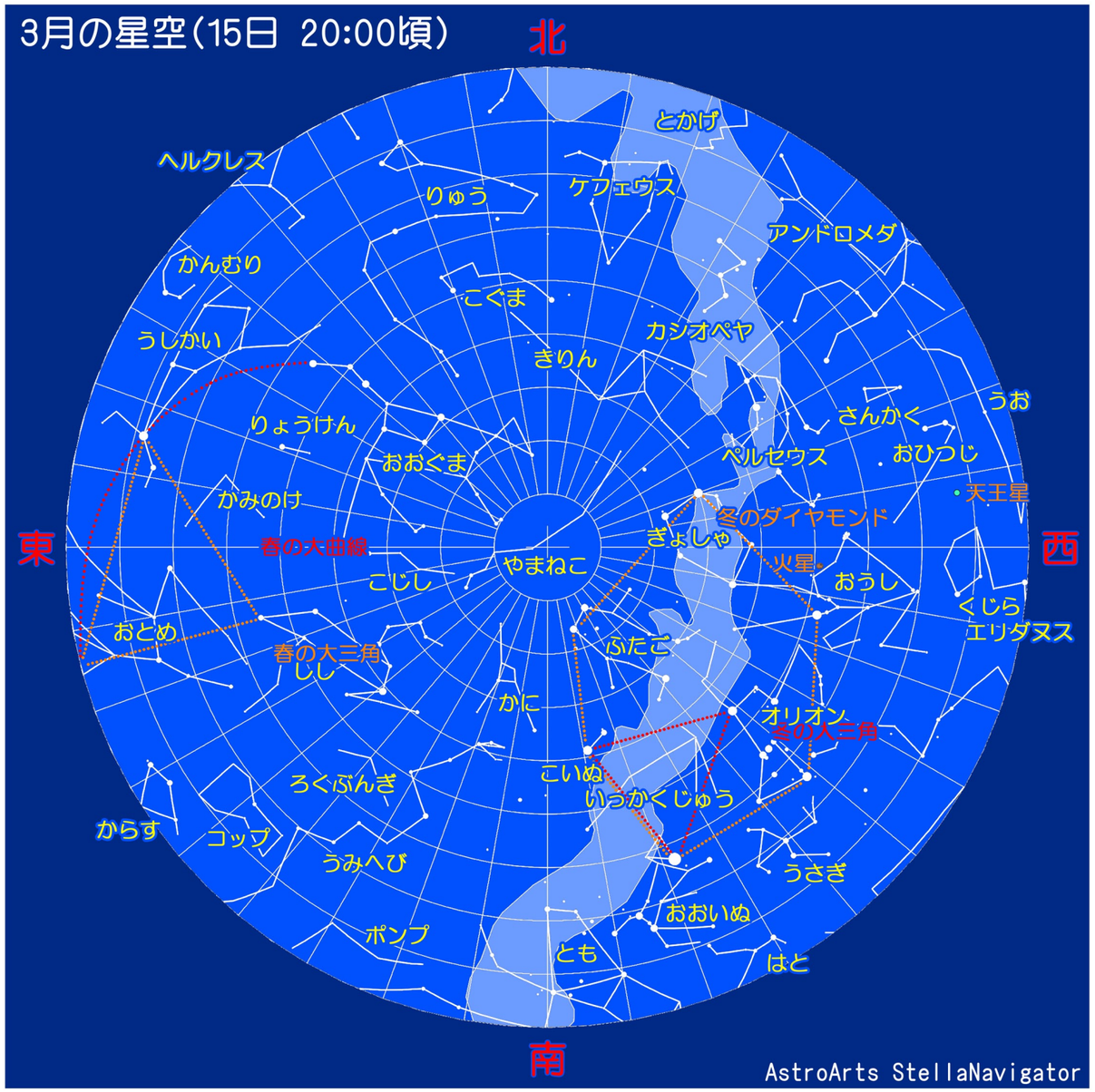
銀河の森天文台
2021年3月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M82（銀河）

おおぐま座に位置する銀河で、1774年にヨハン・ボーデによって、M81と同時に発見されました。非常に星形成が活発な銀河（スターバースト銀河）です。

細長い形から、葉巻銀河という愛称があります。りくり望遠鏡では、葉巻のような細長い光芒に、暗黒星雲のくびれが入った姿を見ることができます。

距離：約1200光年

M82

月

		出	没
6日	下弦	00:30	09:54
13日	新月	05:56	17:10
21日	上弦	09:21	00:25
29日	満月	18:17	05:44

天文台から月を見ることができるのは17～28日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい３つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M44（散開星団）

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることが出来ます。星団である事を発見したのは、ガリレオ・ガリレイと言われています。アイヌも古くからこの星団を知っており、エルムン・プ（ねずみの倉）と呼んでいました。

距離：約590光年

M97（惑星状星雲）

ぼんやりと見える丸い光の中に暗い部分が２つありその様子がふくろうの顔を連想させることから「ふくろう星雲」と呼ばれています。北斗七星のひしゃくの底部分の星（β星）のすぐ横に位置しています。

距離：約1800光年

アルギエバ（桓星）

しし座の首のつけねのあたりに位置する星で、橙色の2.4等星と黄色3.6等星のペアの二重星です。実際に望遠鏡でのぞいてみると、橙色のほぼ同じ明るさの星のペアとして見ることができます。

距離：約126光年

かに座ι（イオタ）（重星）

色の対比の美しい二重星と言えば夏の星のアルビレオが有名ですが、春ならばこの星です。かに座の右のはさみのところで輝く４等星で、黄色と青色の色の対比が美しい春を代表する二重星のひとつです。

距離：約298光年

ちょっとマニア

• NGC2903（銀河）

しし座の口元に位置する銀河です。りくり望遠鏡では中心部の棒状の構造と、その両端から伸びる腕の様子を観察できます。腕の部分は淡いため、見るのは少々難しいでしょう。

距離：約2400光年

その他おすすめ

- M45（散開星団）
- M46（散開星団）
- M47（散開星団）
- M65（銀河）
- M67（散開星団）
- M81（銀河）
- NGC2392（惑星状星雲）
- カストル（重星）

3・4月の銀河の森天文台カレンダー

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日